『未来志向型素形材経営』に向けて②

**素形材経営セミナー**

～「人手不足」「付加価値不足」をどう乗り越えるか～

第四次産業革命などにより製造業のあり方が大変革期を迎える中、2018年版「ものづくり白書」では、経営者が持つべき共通認識として「4つの危機感」を掲げ、「深刻化する人手不足の中での‘現場力’の再構築」「デジタル人材等の育成・確保」「新たな環境変化に対応した付加価値向上」を、主要課題と対策の方向性として提示しました。素形材産業でも、足下では繁忙への対応、中長期的には不確実性を増す経営環境の中で、次世代ものづくりへの変革が求められています。

そこで今回は、白書のポイントの紹介を通じて、この危機感と課題を共有すると共に、素形材分野の企業から、具体的な取組みのお話を直接お聞きし、これからの時代を生き抜くための課題解決へのヒントを探ります。

**参加無料**

**定員80名**

**日 時**

平成３０年10月 11日 （木） １３：００ ～ １６：５０

機械振興会館 B3階　研修１号室

**会 場**

東京都港区芝公園３丁目５番８号　（案内図参照）

**プログラム**

１３：００～　**開会挨拶** 　　　　　　　　　　　　 経済産業省 製造産業局素形材産業室

１３：１０～　**政策紹介　　「2018年度版ものづくり白書のポイント～4つの危機感と対応策の方向性～」**

経済産業省 製造産業局ものづくり政策審議室

【概要】　大変革期の中、日本の製造業が乗り越えるべき課題と対応策への提言等を紹介する。

１３：５０～　**事例講演Ⅰ 「変革の時代を乗り切るクボタ流モノづくりの挑戦」**

　㈱クボタ　阪神工場　設備技術課　西原　幸祐氏

【概要】 KPS（Kubota Production System）が目指す「望みを超える製品を、予測を超えるスピードで提供するものづくり」。新旧設備が混在する鋳物工場での、IoTを活用した人とロボットの協働や工場の見える化への取組みを中心に、モノづくりの進化を紹介する。

１４：５０～　休憩

１５：００～　**事例講演Ⅱ 「人xロボットx ITの融合による未来へ向けたものづくり」**

　　　　㈱久野金属工業　専務取締役　久野　功雄氏

【概要】 電気自動車の電池、モーター部品など素形材を通じて世界初を生み出してきた同社は、　関連会社のマイクロリンクと共にITによる人の付加価値向上を行ってきた。８つのシステム開発や中小企業を強くするIoT新サービス『IoTGO』など未来へ向けた取組みを紹介する。

１５：４５～　**事例講演Ⅲ 「人の価値を最大化する、HILLTOPのものづくり革命」**

　　　　　　　　　 　 　 ㈱HILLTOP　経営戦略部長/

HILLTOP Technology Laboratory, Inc. (ｱﾒﾘｶ法人) CEO　山本　勇輝氏

【概要】 孫請けの鉄工所からディズニーやNASAも頼る企業に。人がやるべきこと、機械に出来ることを徹底的に分業したHILLTOP SYSTEMで、圧倒的短納期と顧客価値を実現。何よりも人のモチベーションを優先した、HILLTOPが考える会社のあり方を紹介する。

１６：３０～ **質疑応答・意見交換**

　　　　　　　　　　　主　催／　　経済産業省、　　一般財団法人素形材センター

＊講演者や講演時間など、プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

|  |  |
| --- | --- |
| ◇申込方法 | |
| 申込書に所要事項記入の上、E-mailもしくはFAXでお申込み下さい。  東京都港区芝公園3丁目5番8号　機械振興会館3階301号室 (〒105-0011)  一般財団法人　素形材センター　企画部  E-mail: keiei@sokeizai.or.jp　　　電話03(3434)3907 　FAX03(3434)3698 | |
| ◇申込締切　　 平成30年10月9日（火） | |
| ◇会場案内図 | |
|  | 地下鉄**：**東京メトロ日比谷線神谷町駅下車(徒歩8分)  神谷町駅から無料送迎バス<http://www.jspmi.or.jp/material/file/office/bus/bus_20120801.pdf>)  都営三田線御成門駅下車(徒歩10分)  都営大江戸線赤羽橋駅下車(徒歩10分)  都営浅草線大門駅下車(徒歩15分)  ＪＲ**：**浜松町駅下車(徒歩17分)  バス**：**浜松町～東京タワー路線　東京タワー前下車  **個人情報保護法に関する対応**  ご記入頂いた個人情報は、本講演会の事務に利用するとともに、参加  者リストを作成し、講師と参加者に手交します。  また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。 |

(一財)素形材センター 企画部 行　（FAX：03-3434-3698、E-mail: keiei@sokeizai.or.jp）

素形材経営セミナー　　（10/11開催）

『未来志向型素形材経営』に向けて②

～「人手不足」「付加価値不足」をどう乗り越えるか～

　 参 加 申 込 書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 社名 |  | |
| 所属・役職 |  | |
| 氏名 |  | |
| 住 　所 | （〒　　　　　－　　　　） | |
| 連絡用E-Mailアドレス |  | |
| TEL/FAX | TEL | FAX |

＊受講番号等の連絡は行いません。当日、受付で名刺を1枚お渡しください。 定員オーバーの場合のみご連絡します。